



新潟市議会議員

荒井ひろゆき通信

2018年 冬
第3号

発行/荒井ひろゆき
電話/025-278-5312
FAX/025-278-5311

「あいさつ」

みなさん、こんにちは。寒い日が続きますが、新潟市の懐も寒くなっております。このような時こそ熱く燃えて働かなければならないとひしひしと感じております。

平成30年度当初予算編成にあたり、本市の財政状況は、少子・超高齢化に対応するための扶助費など社会保障費や借金の返済にあたる公債費などの支出が増え、歳入歳出の差引きによる総計で約119億円の収支不足が見込まれています。さらに借金にあたる市債が増え、貯金にあたる基金が減少しています。

これから収支均衡を図り、行財政改革を徹底する中で、まず市民の生活に直結する行政サービスはしっかりと守り、そして限られた経営資源を最大限に有効活用して、新潟市を元気にしていかなければなりません。

人口減少に伴う消費額の減少を補うために交流人口を増やし、人口流出を抑えるためにも魅力のある新潟市にしていく必要があります。

市民のみなさんが安心して暮らせるように、これまでに以上に気を引き締めて取り組んでまいります。

平成29年9月定例会 一般質問要旨(抜粋)

新潟卸団地の周辺道路の整備について

■質問 新潟卸団地は本市中心部に近く50年の歴史を持つ東区最大の企業集積地である。また流通拠点としても本市を発展させる上で重要な役割を担っているが、周辺道路の整備は十分とは言えない。今後どのように整備していくのか伺う。

■答弁 新潟卸団地は利便性の高いエリアであり、産業発展に欠かせない機能を担っている。周辺道路の円滑な通行確保のため、今後も道路利用環境の改善に努める。

自動体外式除細動器(AED)の普及・啓発について

■質問 AEDは誰もが安全に使えるように開発された医療機器であり、本市では多くの協力事業所から借りることができ、夜間や休日でも心停止で突然倒れる方はいらる。そこで年中無休、24時間営業の店舗(コンビニエンスストア等)にも設置が広がるように、特別にAED設置事業補助金の補助対象事業者に加えてはどうか。

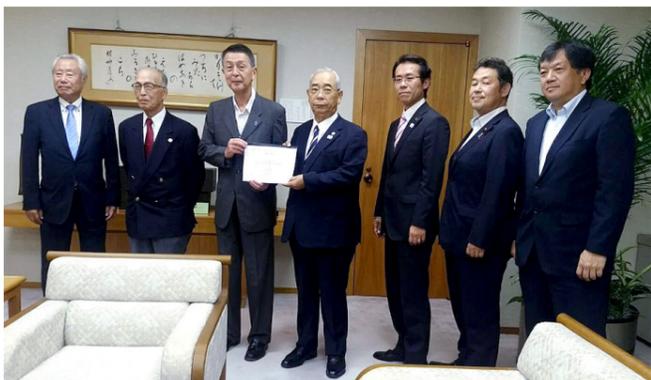
■答弁 年中無休、24時間営業の店舗など民間施設を含めたAEDの効果的な設置に向けた補助制度のあり方について、他の政令市の取り組みの状況も見ながら研究していく。

市営野球場の新設について

■質問 市営野球場新設を中心とした「パーク・ボールゲーム・パークプロジェクト」の提案・要望は、野球のみならず市民が健康的に安全に1日過ごせる空間として、多くの人々に受け入れられると期待が膨らむが、市長の見解を伺う。

■質問 パーク・ボールゲーム・パークプロジェクト 新潟県野球協議会からの提案・要望。老朽化した鳥屋野運動公園野球場、小針野球場を取り壊し、鳥屋野潟南部に新球場を核としたまちづくりを推進する構想。災害時の活動拠点、プロ野球球団誘致、交流人口の拡大、利便性向上など、地域活性化を目的としている。

■答弁 二つの野球場の老朽化や周辺の宅地化など環境が大きく変化してきた中で、これらの課題解決に向けた有意な提案・要望と考える。



新潟県野球協議会のみなさんと市長へ要望・提案書を渡す(右から2番目)



地域の防災訓練でのAED講習 実際に触れてみる事が大切です

東区バス「紫竹・江南ルート」社会実験の利用者数は増加傾向!!

4月から新ダイヤ(平日1日12便)となり利便性が向上した「紫竹・江南ルート」は、越後石山駅と東区役所の間を地域の足として運行しています。

昨年度は、1便当たりの利用者数が1.4人程度でしたが、今年度(11月末現在)は、2.3人まで増加しています。しかも少しずつ伸びている傾向にあります。

本格導入への目標4人以上に向け、引き続き周知と利用促進をお願い致します。

冬場は寒くて足元の悪い日も多くなります。便利な区バスをぜひご利用ください。



道路整備が進む越後石山駅西口にて

最近の活動のご紹介

2017年10月7日

新潟シティマラソン2017に参加

新潟市が主催する一大スポーツイベント「新潟シティマラソン」に初参加しました。今年は新コースとなり参加人数は11,647人でした。外国からの参加者も増加しており78人が完走しました。これは、文化スポーツコミッションの地道な活動の成果です。私は10kmのファンランでしたが、秋晴れの下、デンカビッグスワンをスタートし、信濃川やすらぎ提や萬代橋を走り、陸上競技場でゴールしました。実際に走ってみて最も嬉しかったのは、途切れることのない沿道からの声援でした。新潟市民のやさしさを感じ、とても力づけられました。このように多くの市民に支えられ大会が盛り上がっているのだと思いました。また、フルマラソンを走った方々からの感想が多かったのが、みなとトンネルの往復は空気が悪くきつかったというものでした。柳都大橋を渡り、みなとトンネルを通るなどランナーに喜ばれるコースの検討もさらに必要と思いました。これからも大会の魅力を発信し、市民の健康増進に、また多くの方々に本市へ訪れていただけるよう頑張ります。

2017年10月24日~28日

ハバロフスク市、ウラジオストク市を訪問

新潟市議会ロシア訪問団の一員として姉妹都市であるハバロフスク市とウラジオストク市を訪問しました。両市にはとても友好的に歓迎していただきました。かつて定期航空路もあり交流も盛んであったので新潟市に特に親しみを持っているそうです。今回はチャーター増便、定期航空路再開の要望もして参りました。

両市との友好関係がさらに深まり、市民交流をはじめ観光や経済分野における相互協力が促進されるよう努力したいと思いました。



ハバロフスク市議会にて(左端)

2017年11月15日

世界文化遺産 軍艦島を行政視察

観光交流促進調査特別委員会で北九州、大分、長崎へ行政視察に行きました。私は「明治日本の産業革命遺産」の中でも特に存在感が大きい長崎市の軍艦島(端島)に以前から関心がありました。それは本市と観光誘客における連携協定を結ぶ佐渡市が「金銀山を世界遺産に」と取り組んでおり、本市も観光振興のために応援しているからです。

軍艦島は南北300m東西100mの広さしかありませんが、海底炭坑の島として貴重なエネルギーを提供し続け、最盛期(昭和30年代)には5300人が暮らし、人口密度は日本一となりました。その後、昭和49年に閉山し人の姿が消え、やがて廃墟となりました。

しかし、平成27年7月に世界文化遺産に登録されると観光客が増加し多くの外国人も訪れるようになりました。

現在、軍艦島は強い雨風により劣化が進み少しずつ姿を変えています。維持管理のための整備費は30年間で108億2千万円と積算され、財源確保のため支援要請、基金設立などを行っています。

それにしても、日本の近代化を根底から支えた美しい廃墟は感慨深いものがあります。

そして、佐渡にも金銀山とともに歴史に残る「北沢浮遊選鉱場」という美しい廃墟があります。佐渡・新潟両市の観光振興のための調査を今後も続けたいと思います。



軍艦島に上陸、劣化する建物の前にて

荒井ひろゆき プロフィール

●生年月日/昭和42年1月19日 51歳

●略歴

新潟市生まれ。中野山小学校、石山中学校、新潟南高校、関東学院大学を卒業。
1991年、県内メーカー入社。東京支店勤務。
1999年、31歳で東京からUターン。市内ホテル入社。
2015年4月に新潟市議会議員 初当選

●所属

保守市民クラブ
(新年度から最大会派になりました)
文教経済常任委員会
観光交流促進調査特別委員会
阿賀北広域組合議会議員

よろしく
お願い
します!



●事務所

〒950-0852 新潟市東区東中野山2-3-9
TEL 025-278-5312 FAX 025-278-5311

●自宅

〒950-0852 新潟市東区石山3-6-12
TEL・FAX 025-286-2535
E-mail hope@arai-hiroyuki.com